

平成 25 年 3 月 22 日

## 平成 25 年地価公示に関するコメント

住友不動産株式会社

代表取締役社長 小野寺研一

今回の地価公示では、横ばい乃至上昇に転じた地点が大幅に増加したほか、年後半(7月～12月)にかけて下落率も縮小しており、地価の底入れ感がより鮮明となった。

東京のオフィスビル市場では、大型ビルの新規供給が一巡し、足元の空室率は低下傾向で推移、優良ビルの募集賃料は上昇に転じている。また、低金利を背景に消費者の住宅取得意欲は底堅く、分譲マンションの販売環境は良好だ。都心では、原材料となるマンション用地価格も上昇している。このように、地価はすでに反転しているというのが実感で、この回復感が今後の地価公示にも反映されてくるだろう。

景気回復とデフレ脱却のため、地価の緩やかな上昇は欠かせない。安倍政権には、引き続きスピード感のある政策実行を期待したい。

以上